

音声MUX機能付きA/Dコンバーター

ADC-70BSD-E

ANALOG TO DIGITAL CONVERTER

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 電源プラグ、コードは

- ・ 定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・ 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・ 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・ 電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・ 電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・ 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・ すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 空調設備を確認してください。
- ・ しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・ 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・ 消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・ 感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・ 故障の場合は、弊社 製造技術部へご連絡ください。

4) その他

- ・ 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・ 質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・ 冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・ 車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・ 機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

● 定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社 製造技術部までお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 製造技術部までご連絡ください。

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

<土曜・日曜・祝祭日の連絡先>

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507 (携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

受付時間 9:00~17:00

保証規定

・本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

・修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

・アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

何卒、ご理解の程よろしく願いいたします。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
保証規定.....	III
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 機能チェックと筐体への取り付け.....	2
1. 構 成.....	2
2. 棚板への取り付け.....	2
3. オーディオケーブルの取り付け方.....	3
4. POWER ON までの手順.....	3
5. 基本動作チェック.....	4
3. 各部の名称と働き.....	5
4. 操作方法.....	8
1. 基本操作.....	8
2. メニューツリー.....	9
5. SNMP.....	10
6. トラブルシューティング.....	12
7. 仕 様.....	13
1. 定 格.....	13
2. 性 能.....	13
8. 外形寸法.....	14
9. 系統図.....	15

1. 概 説

ADC-70BSD-Eはアナログコンポジット信号をSD-SDI信号に変換し、同時に2チャンネルのアナログ音声信号をマルチプレックスすることができます。また、出力位相をREF信号に同期させることもできます。

実装筐体を選ぶことで単体から10モジュールまでシステムに合わせた対応ができます。

同一筐体に複数個のADC-70BSD-Eモジュールが実装されているときは、そのうちの1つのモジュールからリファレンス信号を他のモジュールに分配できます。※1

《特 長》

- ・映像信号は12bitで量子化した後、デジタルコムフィルターでY/C分離を行っており、細部にわたり鮮やかな色を再現
- ・出力のSD-SDI信号に2chのアナログ音声信号をマルチプレックス※1
- ・REF信号入力があり、外部リファレンス信号に同期して出力
- ・アナログ音声信号は内部でREF信号、または映像信号に同期した20bit/48kHzのデジタル信号に変換
- ・アナログ音声信号は平衡/不平衡のどちらにも対応
- ・REF信号入力時に出力位相を $\pm 0.5H$ (約 $\pm 30 \mu s$)の範囲で調節
- ・REF信号を、内部バス経由で同一筐体内の他のモジュールへ分配 ※2

※1 操作メニューの音声MUX:OFF時は、音声/パケットなし、音声MUX:ON時は、音声/パケットありに成ります。

音声MUX:ON時に音声入力に何も接続されていない時は、-65dB以下のレベルで音声/パケットありに成ります。

※2 この設定は操作メニューで行います。ただし、同一筐体内に、70シリーズコントローラ系モジュール(TLG-70BC、VT-70BC等)やREF MASTERモード(INTERNAL MASTER、LINE MASTER、EXT MASTER)に設定したモジュールが存在する場合はこの機能を使用できません。

2. 機能チェックと筐体への取り付け

1. 構成

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	A/Dコンバーターモジュール	ADC-70BSD-E	1	
2	コネクタモジュール		1	
3	オーディオコネクタ	15EDGKM-3.5-03P -14-00A(H)	2	コネクタモジュールに取り付けてあります
4	取扱説明書		1	

表2-1 構成

1. メインモジュール

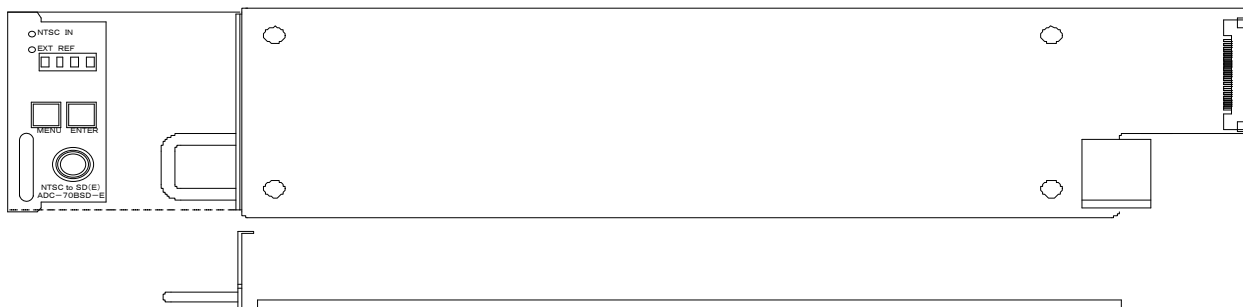


図2-1 メインモジュール

2. コネクタモジュール

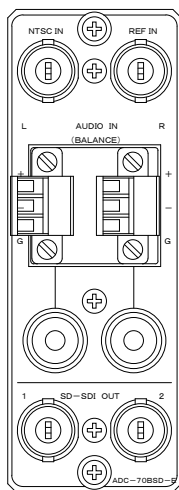


図2-2 コネクタモジュール

2. 棚板への取り付け

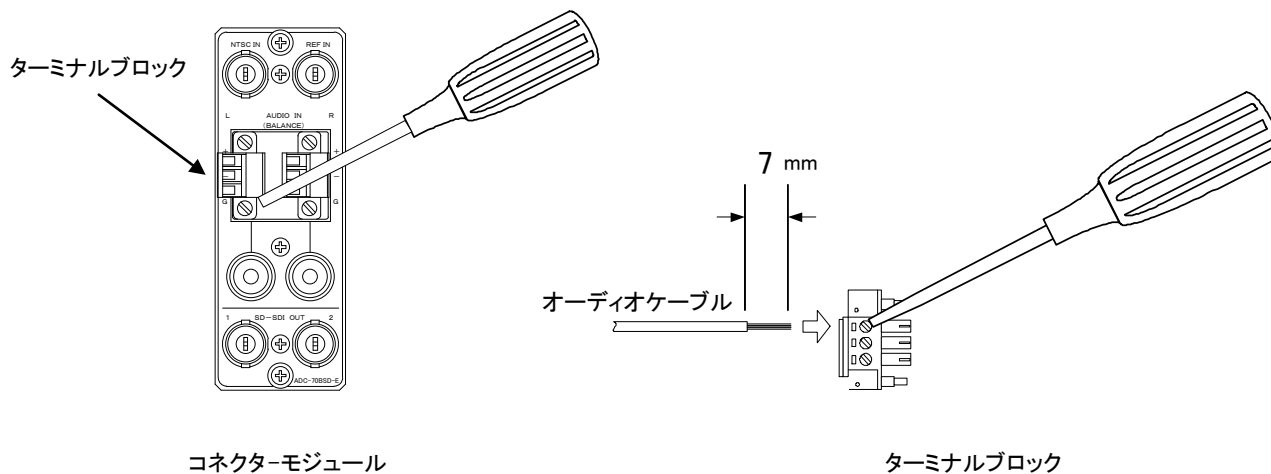
ご使用の際は、コネクタモジュール及びメインモジュールを棚板に取り付けてください。棚板はVbus-70シリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70シリーズ取扱説明書」を参照してください

3. オーディオケーブルの取り付け方

音声信号の接続は先バラの平衡ケーブルを使用します。

出荷時コネクタースモジュールに取り付けてあるターミナルブロックの両端のネジをマイナスドライバーで緩め、ターミナルブロックを引き抜きます。引き抜いたターミナルブロックに図1のように先バラのオーディオケーブルを挿入し、ターミナルブロックの側面にあるネジをマイナスドライバーで締め、ケーブルを固定させます。

図2-3 オーディオケーブルの取り付け方



4. POWER ON までの手順

- (1)コネクタースモジュール及びメインモジュールを筐体へ正しくセットします。
- (2)筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3)NTSC INに本線映像信号(VBS)を入力します。
- (4)AUDIO INにアナログ音声信号を入力します。
- (5)SD-SDI OUTをエンベデッドオーディオ対応のモニターなどに接続します。
- (6)筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプが点灯します。

5. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-12 「6. トラブルシューティング」を参照してください。

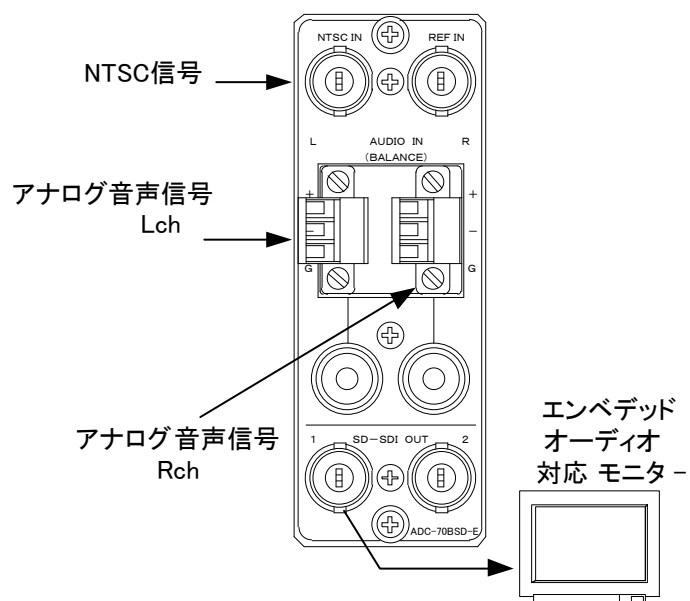
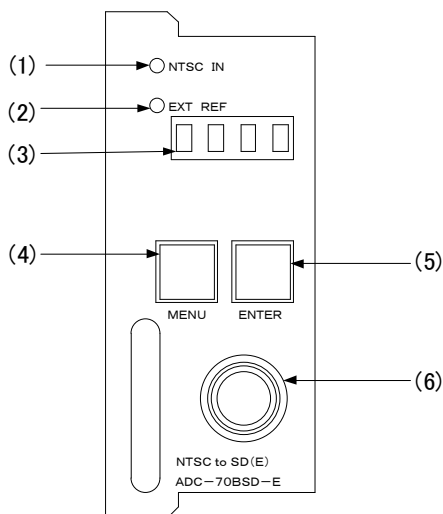


図2-4 基本動作チェック

- (1) NTSC INコネクタにVBS信号を入力します。
- (2) SD-SDI OUTコネクタの出力信号をエンベデッドオーディオ対応のモニターなどに入力します。
- (3) モニターから、入力された映像、音声が入力されていることを確認します。

3. 各部の名称と働き

メインモジュール正面



メインモジュール背面(コネクタモジュール)

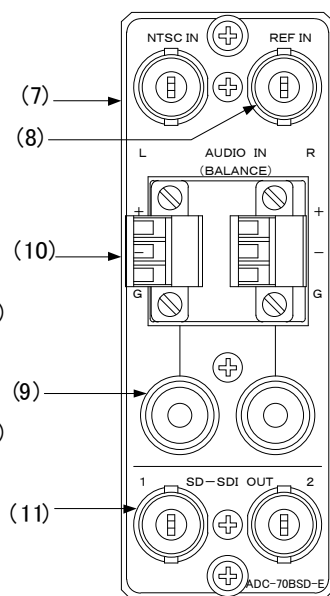


図 3-1 メインモジュール正面、背面

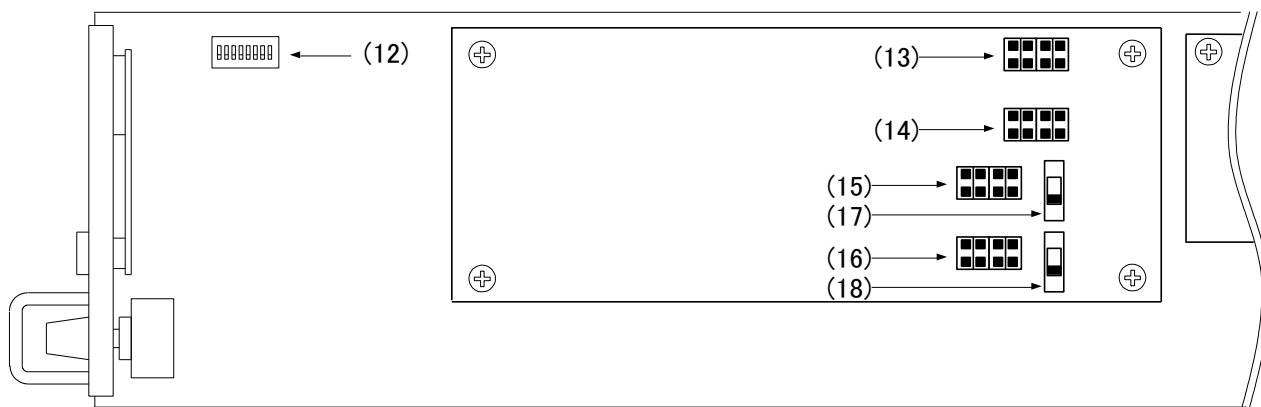


図3-2メインモジュール 基板内

(1)NTSC INランプ

NTSC INコネクタにVBS信号が入力されると緑点灯します。

(2)REF INランプ

REFERENCE MODEでEXT DIRECT、EXT MASTERが選択されていてREF INにBBS信号が入力されているか、EXT SUBが選択されていて同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信している時緑点灯します。また、EXT DIRECT、EXT MASTERが選択されていてBBS信号が入力されていない時、EXT SUBが選択されていて同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信していない時は橙点滅します。

(3)表示器

ステータスや、各種設定メニューが表示されます。

(4)MENUボタン

各種設定を行うときに、メニューモードへ切り替えます。

(5)ENTERボタン

各種設定を行うときに、決定します。

(6)選択ツマミ

各種設定を行うときに、選択します。

(7)NTSC IN

VBS信号を入力します。

(8)REF IN

BBS信号を入力します。

(9)AUDIO IN (RCAピンジャック)

不平衡のアナログオーディオ信号をL, RIに入力します。

(10)AUDIO IN (着脱式ターミナル)

平衡のアナログオーディオ信号をL, RIに入力します。

(11)SD-SDI OUT

SD-SDI信号を出力します。

入力信号が無いときは黒画面を出力します。

(12)ディップスイッチ

DIP1: SW1番をONにすると、強制的にLINE MASTER・EXT MASTERになることができなくなります。

同一筐体内に他のコントローラモジュールが存在するときは、必ずONにしてください。

DIP2: SW2番をONにすると、フレームディレイモード時で、かつLINE DIRECT、LINE MASTR 時の音声ディレイを33mSIに設定する事ができます。

DIP3: SW3番をONにすると、オンスクリーンのメニュー表示を禁止します。メニューは前面表示のみで使用できます。

DIP6: SW6番は工場出荷調整のためのスイッチです。必ずOFFで使用して下さい。

DIP7: SW7番は工場出荷時設定に戻すためのスイッチです。ONにして起動すると工場出荷時の設定となります。通常はOFFで使用して下さい。

DIP8: SW8番をONにするとVブランキング期間である10H~19Hの映像がスルーとなります。OFFにすると10H~19Hは黒レベルでマスクされます。

※その他のスイッチは未使用です。

(13)JP1:Lチャンネル(CH1)標準動作レベル選択

(14)JP2:Rチャンネル(CH2)標準動作レベル選択

(RCA不平衡入力時)

JP1 or JP2

1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	-9dB
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4	-6dB
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	-3dB
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8	0dB

通常出荷時設定は、“0dB”

0dB: 0dBuで入力 → -20dBFSで出力

-3dB: -3dBuで入力 → -20dBFSで出力

-6dB: -6dBuで入力 → -20dBFSで出力

-9dB: -9dBuで入力 → -20dBFSで出力

(15)JP3:Lチャンネル(CH3)標準動作レベル選択

(16)JP4:Rチャンネル(CH4)標準動作レベル選択

(平衡着脱式ターミナル入力時)

JP3 or JP4

1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	-12dB
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4	-6dB
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	0dB
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8	+4dB

通常出荷時設定は、“+4dB”

+4dB: +4dBmで入力 → -20dBFSで出力

0dB: 0dBmで入力 → -20dBFSで出力

-6dB: -6dBmで入力 → -20dBFSで出力

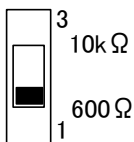
-12dB: -12dBmで入力 → -20dBFSで出力

(17)SW1:Lチャンネル入力インピーダンス選択

(18)SW2:Rチャンネル入力インピーダンス選択

(平衡着脱式ターミナル入力時)

SW1 or SW2



1番側にセット:入力インピーダンス 600Ω

3番側にセット:入力インピーダンス 10kΩ

通常出荷時設定は、“600Ω”

4. 操作方法

1. 基本操作

- 1) 電源投入後、モジュール前面の表示器には、ADC-70BSD-Eとスクロール表示されています。
- 2) モジュール前面のMENUボタンを押すことで、表示器がメニューモードになります。
なお、このとき2秒以上MENUボタンを押し続けると、オンスクリーン表示されます。表示器には、カーソルで選択されている項目が略して表示されます。(表4-1参照)
- 3) カーソルが左の項(図4-1[1])にある状態でツマミを廻し、設定する項目を選択します。
- 4) ENTERボタンを押すとカーソルが右の項(図4-1[2])へ移動し、ツマミを廻して値を変更します。
- 5) 設定を保存する場合はENTERボタンを押します。また、変更をキャンセルする場合は、MENUボタンを押すことにより設定値は変更前の値に戻ります。いずれの場合も、カーソルが左の項へ移動します。
- 6) さらに他項目の設定を行う場合は3)~5)を繰り返し行います。
- 7) 終了する場合はMENUボタンを押すことで1)の状態に戻ります。

カーソル

↓	[1]	[2]	
↓	↓	↓	
>	AUDIO MULTIPLEX	ON	ADC-70BSD-E
	AUDIO IN SELECT	WIRE	SoftVer:
	AUDIO L VOLUME	0.0	1.00.00 R00
	AUDIO R VOLUME	0.0	HardVer:
	DELAY MODE	3LINE DELAY	M0
	OUTPUT PHASE H	0	
	REFERENCE MODE	LINE DIRECT	
	LUMINANCE GAIN	0	
	CHROMA GAIN	0	
	AUTO GAIN CTL	OFF	
	DIG NOISE REDUCT	OFF	
	VERSION		

図 4-1 オンスクリーンメニュー表示 (工場出荷時設定)

2. メニューツリー

MENU	MENU を押して設定メニューに入ります
AUDIO MULTIPLEX	[AMUX]	出力映像に音声をマルチプレックスします
ON	[ON]	
OFF	[OFF]	
AUDIO IN SELECT	[ASEL]	入力音声信号のコネクタ選択です
WIRE	[WIRE]	平衡の音声信号入力を選択します
RCA	[RCA]	不平衡の音声信号入力を選択
AUDIO L VOLUME	[LVOL]	音声のL調整です +0.0 (-6~+6db)
AUDIO R VOLUME	[RVOL]	音声のR調整です +0.0 (-6~+6db)
DELAY MODE	[DLAY]	ラインディレイ/フレームディレイの選択です
3LINE DELAY	[LINE]	ラインディレイモードです
FRAME DELAY	[FRAM]	フレームディレイモードです
OUTPUT PHASE	[PHSE]	REF信号に対する出力の位相を調整します
	+000 (-840~+840)	約±30μ Sの範囲で調整できます。 (3LINE DELAYモード時は+方向のみ調整できます)
REFERENCE MODE	[REF]	リファレンス信号を選択します
LINE DIRECT	[LDIR]	LINE信号に同期し、リファレンス信号を分配しません
LINE MASTER	[LMST]	LINE信号に同期し、リファレンス信号を筐体内のバスに出力します
EXT DIRECT	[EDIR]	BBS信号に同期し、リファレンス信号を分配しません
EXT MASTER	[EMST]	BBS信号に同期し、リファレンス信号を筐体内のバスに出力します
EXT SUB	[ESUB]	リファレンス信号を筐体内のバスから受信します
		※EXT DIRECT,EXT MASTERモード時BBS信号が無い場合はLINE信号に同期します
LUMINANCE GAIN	[LGIN]	NTSC入力信号のルミナンスレベルを調節します
	+000 (-150~+150)	±150ステップで±10%の調整ができます。
CHROMA GAIN	[CGIN]	NTSC入力信号のクロマレベルを調節します
	+000 (-150~+150)	±150ステップで±10%の調整ができます。
AUTO GAIN CONTROL	[AGC]	NTSC信号のSYNCレベルを見て入力レベルを補正します
OFF	[OFF]	
ON	[ON]	
DIG NOISE REDUCT	[DNR]	NTSC入力 DNR(デジタルノイズリダクション)ON/OFF
OFF	[OFF]	
ON	[ON]	
VERSION	[VER]	バージョン情報を確認できます

網掛けの文字は工場出荷時設定です。[]内は本体の表示器上の表示です。

表4-1 メニューツリー

5. SNMP

ADC-70BSD-EのMIBデータは、以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 1. 178. 1. 1. 項番. indexになります。

indexは、スロット番号1～10です。

(旧識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. n. 項番. 0 となります。nは、スロット番号1～10になります。)

MIBデータが変化したときはトラップが発生します。

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
1	adc70bsdepid	R/O	80	プログラム情報	Char PID[5][16]の内容 製品コード ADC-70BSD-E 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 01.00.00 R00 製造日時 2011/11/09 Wed Build-13:25:48	STRING
3	adc70bsdekode	R/O	4	機種コード 178=ADC-70BSD-E	機種コード 178	INTEGER
12	adc70bsdeInputRef	R/O	4	入力同期信号の状態 0=No Sig 1=OK 2=invalid(無効)	リファレンス入力あり:1 REF 設定で LINE 設定時:2	INTEGER
13	adc70bsdeInputVideo	R/O	4	アナログ NTSC 入力の状態 0=No Sig 1=OK	アナログ NTSC 入力あり 1	INTEGER
14	adc70bsdeDipSw	R/O	4	DIP SW-1~8: bit0~7 0=OFF, 1=ON DIP SW-1: bit0 Ref Master 禁止 0=enable, 1=disable DIP SW-2: bit1 LINE DIRECT(LINE MASTR)時 音声ディレイ設定 0=16msec, 1=33msec DIP SW-3: bit2 ON SCREEN MENU 0=有効, 1=無効 DIP SW-7: bit6 工場出荷時設定 0=無効, 1=有効 DIP SW-8: bit7 V ブランキング(10H~19H) スルー 0=マスク, 1=スルー	ON SCREEN 無効 4	INTEGER

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
40	adc70bsdeHard	R/O	4	ハードのバージョン情報 英数字 2 文字	英数字 2 文字 "M0"=19760(0x4D30)	INTEGER
51	adc70bsdeAudioMultiplex	R/W	4	音声マルチプレックス 0=OFF 1=ON	ON 1	INTEGER
52	adc70bsdeAudioInputSelect	R/W	4	音声入力端子選択 0=WIRE, 1=RCA	WIRE 0	INTEGER
53	adc70bsdeAudioLeft	R/W	4	volume left -60~60 (-6.0dB~6.0dB)	volume left 1.0dB 10	INTEGER
54	adc70bsdeAudioRight	R/W	4	volume right -60~60 (-6.0dB~6.0dB)	volume right 2.0dB 20	INTEGER
55	adc70bsdeDelayMode	R/W	4	ディレイモード 0=3line delay 1=frame delay	frame delay mode 1	INTEGER
56	adc70bsdeHphase	R/W	4	H 出力位相 -840~840(Frame),0~840(3line)	H 位相 127 127	INTEGER
57	adc70bsdeRefMode	R/W	4	リファレンス選択 0= LINE DIRECT 1=EXT DIRECT 2=LINE MASTER 3=EXT MASTER 4=EXT SUB	LINE DIRECT モード 0	INTEGER
58	adc70bsdeLumiGain	R/W	4	LUMI -150~150	LUMI 15 15	INTEGER
59	adc70bsdeChromaGain	R/W	4	CHROMA -150~150	CHROMA 40 40	INTEGER
60	adc70bsdeAutoGainCtrl	R/W	4	AUTO GAIN ON/OFF 0=OFF, 1=ON	AUTO GAIN ON 1	INTEGER
61	adc70bsdeDigiNoise Reduction	R/W	4	Digital Noise Reduction ON/OFF 0=OFF, 1=ON	DNR ON 1	INTEGER

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)
筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

現象 電源が入らない！

- 原因
- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

現象 まったく動作しない！

- 原因
- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
 - ・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？

現象 映像が正しく表示されない！

- 原因
- ・映像信号「VBS信号」が正しく入力されていますか？
 - ・出力はD1モニターに正しく接続されていますか？
 - ・コネクタモジュールはADC-70BSD-E用ですか？
- P5 「各部の名称と働き」を参考にして、コネクタとケーブルが正確に接続されているかご確認ください。

現象 音声为正しく表示されない！

- 原因
- ・音声信号が正しく入力されていますか？
 - ・音声のマルチプレックスはONに設定されていますか？
 - ・音声入力切り替え、音声入力インピーダンス、音声入力レベル選択は正しく設定されていますか。
 - ・音声レベル調整は正しく調整されていますか？

7. 仕様

1. 定格

入力信号

・ NTSC IN	VBS、1V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統
・ REF IN	BBS、0.43V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統
・ AUDIO IN L、R	10kΩ以上、不平衡、RCA L、R 各1系統 または600Ω/10kΩ以上、平衡、3極着脱式ターミナル L、R 各1系統 ※不平衡/平衡の切り替えは本体メニュー操作で行います。 ※入力レベルは基板上のジャンパーピンで設定できます。 不平衡 0dBu、-3dBu、-6dBu、-9dBu 平衡 +4dBm、0dBm、-6dBm、-12dBm

出力信号

・ SD-SDI OUT 1、2	SMPTE 259M-C準拠、0.8V _{p-p} /75Ω、BNC各1系統
------------------	---

動作温度	0~40°C
------	--------

動作湿度	20~80%RH(ただし結露なき事)
------	--------------------

消費電力	9VA (5V,1.8A)
------	---------------

2. 性能

入力特性

・ NTSC IN

入力インピーダンス	75Ω
周波数特性	0.5MHz~4.5MHz±0.6dB
サンプリング周波数	13.5MHz
量子化	10bit

・ AUDIO IN

分解能	20bit
S/N	80dB以上
クロストーク	65dB以上
サンプリング周波数	48kHz
入出力遅延	ラインディレイモード:3ms以内 フレームディレイモード:約1フィールド(16ms)
周波数特性	20Hz~20kHz(にて 0~±1dB以内)

出力特性

・ SD-SDI OUT

出力信号振幅	800mV _{p-p} ±10%
出力インピーダンス	75Ω
立ち上がり時間	0.4ns~1.5ns
立ち下がり時間	0.4ns~1.5ns
アライメントジッター	0.2UI
タイミングジッター	0.2UI

入出力遅延

ラインディレイモードで190μs(3ライン)遅延 0~30μsの範囲で位相調整可 フレームディレイモード REF無し:約33ms(1フレーム) REF有り:約190μs~33ms ±30μsの範囲で位相調整可

※注外観及び仕様は変更することがあります。

8. 外形寸法

◇メインモジュール外形寸法

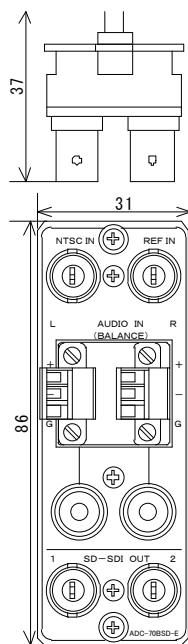


・299(L)×75(H) 227g (コネクタ及びコネクタモジュールを除く)

単位:mm

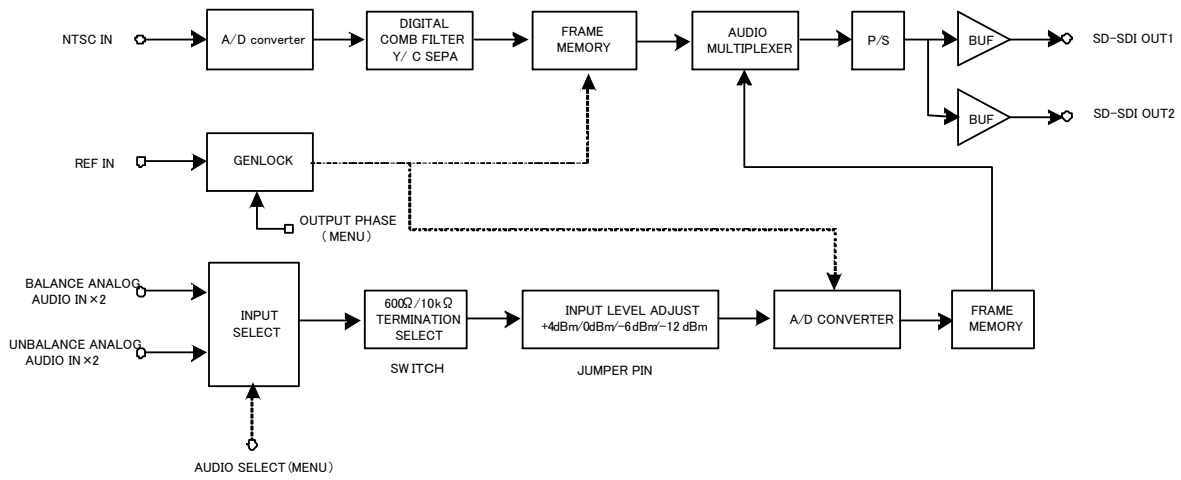
◇コネクタモジュール外形寸法

・31(W)×86(H)×37(D) 110g



単位:mm

9. 系統図



無断転写禁止



- ・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- ・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

緊急時の連絡先について

ご使用中の製品が故障する等緊急の際には、下記連絡先へご連絡をお願いいたします。

営業日の連絡先

TEL.042-666-6329 FAX.042-666-6330
E-Mail. cs@videotron.co.jp

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16 **受付時間 / 8:30～17:00**

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

【留守番電話】 TEL.042-666-6311
【緊急時】 TEL.090-3230-3507

携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますのであらかじめご了承願います。

受付時間 / 9:00～17:00

ビデオトロンWEBサイト

<http://www.videotron.co.jp/>

101347R07

この文書の情報は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。